

のんほいパークたんけんシートクマ編

日にち: 月 日 学校名: _____

年 組 番 なまえ: _____

問題1

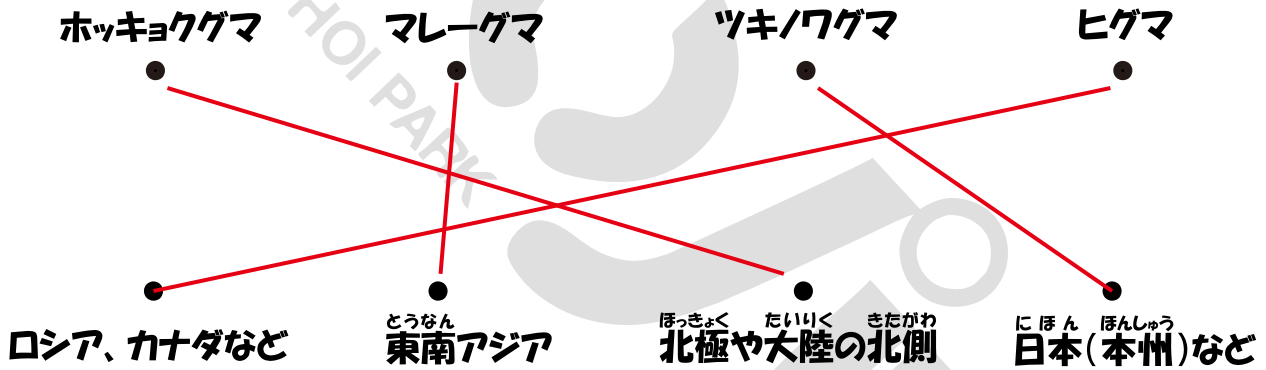
のんほいパークにいるクマを、^{からだ}体が^{おお}大きい順に^{じゅん}ならべよう。
(マレーグマ・ツキノワグマ・ホッキョクグマ・ヒグマ)

大きい ← _____ → 小さい

① **ホッキョクグマ** ② **ヒグマ** ③ **ツキノワグマ** ④ **マレーグマ**

問題2

それぞれのクマの^す住んでいるところはどこかな？^{ただ}正しいと思^{おも}うものを^{せん}線でむすんでみよう！



<ヒント> ^{した}下のちずを ^{さんこう}さんこうにしてね！



-  ロシア、カナダなど
-  東南アジア
-  日本(本州)など
-  北極や大陸の北側

先生
かくにん欄

のんほいパークのクマたち

ホッキョクグマ

体長：オス 250～300 cm メス 200～250 cm

体重：オス 350～650 kg メス 175～300 kg

生息地：ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部、北極圏

- 特徴：
- ・小さい頭部と長い頸部→海中で泳ぎやすい
 - ・体毛は実は白色ではなく透明で、散乱光によって白く見える
→太陽の光が毛の奥の皮膚まで届き、熱を得ることができる

クッキー♀



ヒグマ

体長：オス 250～300 cm メス 170～250 cm

体重：オス 250～500 kg メス 100～300 kg

生息地：ユーラシア大陸から北アメリカ大陸に広く分布

日本ではエゾヒグマが北海道に生息

- 特徴：
- ・巨体だが非常に敏捷に動く
 - ・生息地などによって体色にバリエーションがあり、
褐色や黒、灰色などがある



レン♂

ツキノワグマ

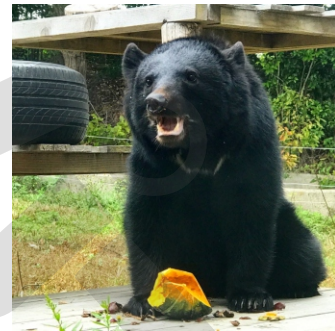
体長：120～180 cm

体重：オス 40～70 kg メス 20～50 kg

生息地：東アジア、東南アジア、西アジアの一部地域

日本ではニッポンツキノワグマが本州に生息

- 特徴：
- ・胸元に三日月形やV字の白い模様がある（ない個体もいる）
 - ・ニッポンツキノワグマは大陸産の個体よりも小柄な傾向がある



アイル♀

マレーグマ

体長：120-150 cm

体重：27-70kg

分布：マレー半島など東南アジア

- 特徴：
- ・クマ科の中で最もからだ小さい→樹上生活に都合がよい
 - ・体毛は短い→暑い気候に適応している

ハッピー♀



ベルクマンの法則

恒温動物において、寒冷地に住む種は温暖地に住む同種や近縁種に比べてからだが大きくなる。これを「ベルクマンの法則」という。体重あたりの表面積を小さくし体からの発散を少なくすることにより寒冷な気候に対応した体の形になっている。



ホッキョクグマが最も北に生息しており、身体は最も大きい。これにヒグマ、ツキノワグマがつづく。マレーグマが最も南に生息し、身体が小さい。ワークシートでは、問題1で大きさについて、問題2では生息地についての問題を出題している。